

# 令和5年度 椎葉村立大河内小学校 学校経営ビジョン



## 椎葉村の教育基本方針・基本目標・重点施策

椎葉村で育ち、学ぶことを通して、郷土に誇りを持ち、将来の夢をもってたくましく生きるこどもを育成する。

【椎葉村の子どもたちに身に付けさせたい力】

- 基礎基本を身に付け、自ら学ぶ力
- 自分の思いや考えを表現し、他者と積極的にコミュニケーションを図る力
- 自分を大切に、他と共に生きる力
- 夢を持ち、目標に向かってねばり強く努力する力
- 国際感覚を身に付け、地域の発展に尽くそうとする力

### 新しい時代に必要となる資質・能力

学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

社会に開かれた教育課程

教育の質を上げる働き方の見直し

## 大河内小学校の教育目標

思いやりの心を持ち、ふるさとを大切にする、かしこくたくましい大河内っ子の育成

### めざす教師像

- 教育愛に燃え伸びる教師
- 研究と修養に努める教師
- 心豊かで信頼される教師

### めざす児童像

- 自ら考える子
- 心の強い子
- 体のたくましい子

### めざす学校像

- 楽しい学校
- 創造性豊かで活気のある学校
- 美しいきまりよい学校

## 学校経営ビジョン



- 「徳育」**コミュニケーション能力の育成**と「知育」**学力向上**を最重点目標に据える。
- 職員が愛情と情熱を持ち、家庭や地域と連携を図りながら、組織的に全力で取り組む。
- 保護者や地域住民の信頼と期待に応え、大河内小の子ども、教師、保護者が自分や学校、地域に自信と誇りがもてる学校経営を行う。

【<キャッチフレーズ> 「人とのかかわりの中で、未来の創り手となる子どもを育む」】

本年度の重点目標と目標達成のための手段、具体的な取組		具体的な数値目標等
人間性・社会性の育成	【目標】 感性を磨き、自分の思いや考えを的確に伝えるコミュニケーション能力等の豊かな人間性や社会性を身に付けさせる。	
	①道徳教育の推進	○「特別の教科 道徳」の充実 ○全教育活動を通じた道徳教育の実施 ・道徳科実施 100%
	②生徒指導や人権教育の充実	○自己指導能力の育成 ○教育相談の充実 ○人権感覚の向上 ○全校話し合い活動（ミーティングタイム）の充実 ・いじめ・不登校解決 100% ・MT（年6回）
	③読書活動の推進	○読み聞かせや家庭での親子読書のすすめ（読書週間の実施） ・読書量前年比プラス（個人）
授業力向上と学力向上	④学校間連携や豊かな体験活動の実践	○目的を明確にした体験活動の実施（ <b>専門家を活用した学習 ZOOM</b> 等） ○交流を目指した遠隔授業等の実施（ <b>村内外校との交流授業</b> ） ○リーダー育成や表現力や対人関係力育成 ○ボランティア活動の充実 ○計画的なキャリア教育の実施（キャリア・パスポートの活用） ・遠隔授業の実施（各学年年6回以上） ・キャリアパスポート実施 100%
	【目標】 学校の指導体制を整備し、授業力を高め、児童の学力を向上させる。	
	①「分かった・できた」と実感できる授業の実践	○4つのチェックポイントとカリキュラムマネジメントを生かした授業実践 ○読解力を高める工夫 ○主体的・対話的で深い学びの授業実践 ○ICTを活用した授業等新しい教育活動への積極的な取組（ <b>ユニット学習推進</b> ） ○ <b>椎葉村学（総合的な学習の時間）の実施</b> ・学力調査分析全学年 100% ・タブレット活用 100% ・各学年年6回以上 ・完全実施（中・高学年）
	②基本的学習習慣の徹底	○立腰指導の徹底 ○「聞く」「話す」態度の育成 ○家庭との連携を図った学習の習慣化
健康・安全と体力向上	③複式解消や個別指導の工夫	○支援体制づくり（2年国語・算数 中学年・高学年の理科複式解消） ○ <b>教育アプリ「キュピナ」の活用（基礎基本、活用問題）</b> ・活用率 80%以上
	④特別支援教育の充実	○ニーズに応じた指導の実施（個別的教育支援計画や指導計画） ○支援体制の充実（通級時の支援） ・支援指導計画の見直し
	【目標】 体力・健康づくりの活動を充実し、食育・安全教育を推進し、児童一人一人に望ましい習慣や実践力を身に付けさせる。	
	①体力向上プランの完全実施	○教科体育の充実（運動技能の向上のための指導） ○運動の日常化（業前・業間活動の活用、機会の拡大・外部機関との連携他） ・体力向上プラン目標達成率 80%アップ
家庭・地域の連携・協働	②健康教育の充実	○感染症への対応（県・村の規定に合わせたマニュアルに沿った対策の実施・） ○保健衛生習慣の定着 ○生活リズムの形成（ <b>ノーマディアデーの実施</b> ） ・感染症対策の徹底 ・むし歯治療率 100%
	③食に関する指導の充実	○食物アレルギー等指導の充実 ○給食指導の充実（給食感謝集会の実施） ○家庭との連携の工夫（弁当の日等） ・弁当の日の各家庭での実施率 100%
	④危険予知能力や危険回避能力の育成	○安全意識の向上を目指した安全教育（安全指導、安全学習）の充実 ○避難訓練の工夫 ○日常的指導の充実 ・避難訓練 年4回の実施
	【目標】 学校と家庭・地域との連携を通じた教育活動を推進し、地域から信頼される学校づくりを行う。	
家庭・地域の連携・協働	①地域を生かした学習の充実	○地域素材・人材の積極的活用（遠隔授業の実施）○ <b>椎葉村学の充実</b> ○地域を学習の場とする活動の実施（農業体験、川での学習等）
	②学校と家庭・地域の一体活動の充実	○学校図書館の開放 ○地域の伝統芸能及び文化の習得 ○家庭や地域への啓発活動（各種たより） ○合同運動会や持久走大会の実施 ・参観率 90% ・懇談参加率 90%
	③地域の学校支援活動の充実	○学校評議員や地区役員、集落支援員との連携や大河内地域人材バンク作成 ○ <b>椎葉村学の充実のための人材活用</b>
	④地域から学校運営への参画促進	○実効性のある学校評価やマネジメントの推進、 ○ <b>学校運営協議会の形づくり</b>

